

新潟県

教育月報 9月号

第 913 号
令和 8 年 9 月 1 日発行
編集人、発行人
新潟県教育委員会

＜今月号の記事＞

1：教科指導力の向上に向けた取組について	P 1-3	全種
2：「遠隔教育配信センター」の取組について	P 4-7	全種
3：専門学科の取組について	P 8-11	全種
4：県内の公立学校教職員の長期病気休暇・休職者の状況について	P 12-14	全種
5：こども読書活動推進について	P 15	全種
6：自作映像・視聴覚教材コンクールについて	P 16	全種
7：インフォメーション	P 17-	全種

教科指導力の向上に向けた取組について

義務教育課

はじめに

県教育委員会では、令和 8 年度学校教育の重点で示したとおり「児童生徒が主役の授業をととした確かな学力の育成」を推進しています。児童生徒の学力を高めるためには、教師自身の教科指導力を向上させることが何よりも大切です。にいがた学びチャレンジやオンライン研修会「学びUP」、専門監 36 名による支援体制、英語教育の ESG・IBA・SEE Project など、教科指導力向上に向けた取組も充実しています。こうした今年度の主な取組を紹介します。

学力向上推進システム活用事業

1 にいがた学びチャレンジ

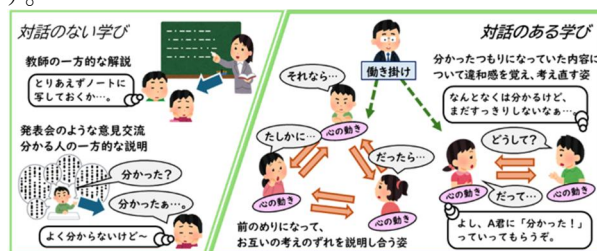
(1) 「対話のある学び」の充実

児童生徒は、

- 他者の考えを聞いて自分の考えを見直す。
- 異なる視点に触れて新たな気づきを得る。
- 自分の考えを言語化して整理する。

といった思考の変容を伴う「対話のある学び」を重ねることで、教科の見方や考え方を働かせ、学びをより深めていきます。日々の授業で、こうした「対話のある学び」をととして、「児童生徒が主役とな

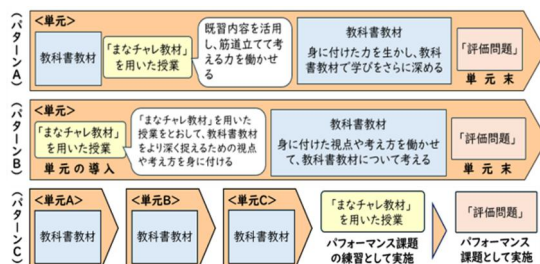
る授業」を実現し、確かな学力の育成を進めています。



(2) 「まなチャレ教材・評価問題」の活用

「対話のある学び」の充実を目指し、令和 7 年度より授業づくりの一助となる教材（通称「まなチャレ教材」）を年 4 回配信しています。今年度は、新たに「評価問題」を導入し、単元を通した学びの把握と授業改善の循環を強化しました。単元末に実施することで授業改善の振り返りに役立ち、結果を踏まえて必要な児童生徒への追加支援も行えます。

「まなチャレ教材」「評価問題」を活用した単元の流れは、図のとおりです。



【「まなチャレ教材・評価問題」を用いた授業づくり】

2 オンライン研修会「学びUP」

授業づくりに関する演習・情報交換を目的に、オンライン研修会「学びUP」を3回実施します。1回目は「『育てたい力』から単元を描く～『まなチャレ教材』と『評価問題』を活用して～」をテーマに、小学校・中学校向けに分けて開催しました。小中合わせて150人を超える参加があり、授業アイデアの紹介や教科別の活用方法の共有、参加者同士で意見交流を行いました。地域を越えて教員同士が交流し、学び合える貴重な機会となっています。

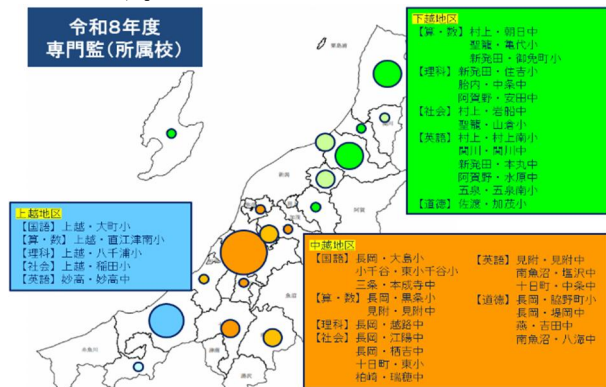
- ・単元ごとに「何を学ぶか」だけでなく、「何ができるようになるか」という育てたい力を明確にして、授業を構成していきたい。(中学校教諭)
- ・「教材を教える」のではなく、「教材で教える」ことを意識してやるのが大切であることを学んだ。(小学校教諭)
- ・少人数のグループでの協議が、悩みや活用状況を共有する貴重な機会となった。(中学校教諭)

【第1回「学びUP」参加者の感想】

教科教育専門監事業

1 教科教育専門監（以下：専門監）とは

2年間の教科教育専門監育成研修を修了し、県教育委員会が認定した教科指導のスペシャリストです。令和8年度は、県内各地で計36名が業務に当たっています。



2 主な業務内容

(1) 受講者への継続的な支援

専門監は、支援要請のあった受講者の学校を訪問し、受講者が抱える悩みや困りごとを丁寧に聞き取りながら、状況に応じた適切な支援を行っています。

指導案の作成を受講者とともに検討したり、授業を参観したうえで授業後に助言・指導を行ったりするなど、受講者の授業づくりを幅広くサポートします。また、ティーム・ティーチング等を通して児童生徒への直接的な支援も行っています。

(2) 授業力向上研修会の開催

授業力向上研修会とは、公開授業、授業協議会、教科に係る研修のセットを基本とする研修会です。専門監がこれまでの経験をもとに授業を公開し、研修会を企画・運営します。9月以降も多数開催予定です。ぜひ御参加いただき教科指導力の向上に役立ててほしいです。

夏季休業後の授業力向上研修会の予定

開催日	教科	会場
10月 8日(木)	社会	村上・岩船中
10月 9日(金)	英語	十日町・中条中
10月15日(木)	英語	新発田・本丸中
11月18日(水)	社会	柏崎・瑞穂中
11月25日(水)	国語	三条・本成寺中
11月30日(月)	英語	阿賀野・水原中

小・中学校外国語（英語）教育事業

確かな学力を備え、国際社会で活躍できる人材育成のため、様々な外国語教育事業を展開しています。

1 英語教育担当教員研修

小・中学校の円滑な接続と生徒の英語力向上、教員の指導力向上を目的に研修を実施しています。小学校外国語実践講座では、大学教授を招いての講義、上中下越に分かれての授業参観と協議会を行っています。中学校英語科主任研修では、上中下越、佐渡の4地区に分かれて、県や自校の状況を踏まえたグループ協議等の研修を行っています。

2 児童生徒の英語力向上

英語力を測る統一指標として、小学校では希望校に英検ESGを、中学校では全校に英検IBAを導入しています。客観的データを基に、担当教員はPDCAサイクルを活用して授業改善を進めています。

3 Students Enjoy English (SEE) Project

教員支援を通じた確かな学力の育成を目的に、SEE Projectを行っています。県指導指導主事が、英語教

員が 1 名のみの中学校を訪問し、その学校のニーズに応じた研修を行います。該当の教員が授業づくりについての具体的な見通しやアイデアをもつことで、子どもへの学力向上に繋げています。

おわりに

県教育委員会は、8 月 3 日（月）に令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果を公表しました（詳細は下の 2 次元コードからご確認いただけます）。県内の公立小中学校における国語・算数（数学）の平均正答率、ならびに中学校英語 3 技能の平均 IRT スコアは、いずれも全国平均を下回る結果となりました。現在、結果の詳細分析を進めており、児童生徒の確かな学力の育成に向けて、教科指導力の一層の向上に努めてまいります。分析結果の詳細については、教育月報 11 月号でお知らせいたします。



【結果公表】

〔お問い合わせ〕

義務教育課指導第 1 係

電話 025-280-5604



「遠隔教育配信センター」の取組について

高等学校教育課

はじめに

県教育委員会では、これまで培ってきた遠隔教育の取組をさらに推進し、全県に拡大するため、令和 8 年 4 月 1 日に「新潟県遠隔教育配信センター」（以下、配信センターという）を県立碧高等学校（県立新潟北高等学校）内に設置しました。

地理的環境や学校規模によらず、県内のどの地域に居住していても、生徒の興味・関心や進路希望に応じた教育環境を提供することを目的としています。

ここでは、配信センターの取組について紹介します。

新潟県の遠隔教育について

1 経緯

国において高等学校における教育の質の向上や多様な学習機会の確保に向けた制度の見直しが進められる中、平成 27 年 4 月、学校教育法施行規則の改正等により、全日制・定時制課程の高校においても遠隔授業が制度上可能となりました。それまで対面により行う授業が原則であった全日制・定時制課程の高校において、対面により行う授業と同等の教育効果を有すると認められる場合、同時双方向型の遠隔授業を行えるようになりました。

本県では、令和 3 年度に文部科学省委託事業「COREハイスクール・ネットワーク構想」の研究指定を受け、令和 5 年度までの 3 年間、「新潟の未来をSaGaSuプロジェクト」として、遠隔教育の実証研究を行い、遠隔授業のノウハウを蓄積してきました。

このプロジェクトをとおして、以下のことが明らかになりました。

(1) システム構築について

遠隔授業には汎用性の高いシステムを構築するとともに、スムーズな配信のために標準以上の性能を持つ機器の整備が必要であるということ。

(2) 配信教員の資質・能力について

ICTスキルよりも、良質な授業のデザイン力こそが配信教員に最も求められる資質・能力であるということ。

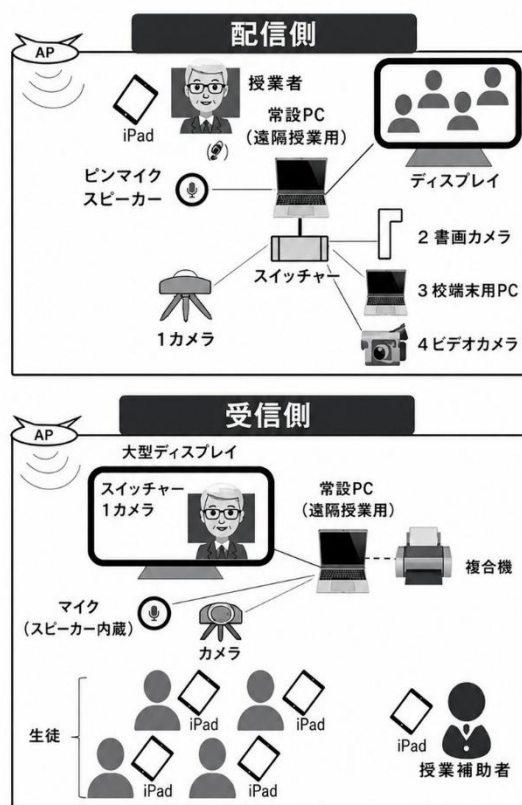
(3) 実施における留意事項について

① 受信側の適切な補助体制

配信教員とのコミュニケーションや生徒へのサポートなど、受信側教員の業務について、ノウハウの共有が必要であるということ。

② 持続可能な配信体制

配信教員の人材育成とともに、授業配信に専念できる環境として、配信センターの設置が望ましいということ。



【遠隔授業システムのイメージ】



2 遠隔教育配信センターの設置

国の事業が終了した後も、遠隔授業は魚沼地域、上越地域、下越地域など、実施範囲を順次拡大していきました。当初 7 校のネットワークで始まった遠隔教育の取組は、令和 7 年度には 17 校で延べ 23 科目の遠隔授業が実施されるまでになりました。

配信センターの愛称「N-PORTA(エヌポルタ)」の「N」は新潟、ネットワーク、ネクスト(次世代の教育)を表し、「PORTA」はイタリア語で入口や扉を指します。配信センターが、新たな学びの扉を開く拠点となり、さらに、地理的な条件に左右されることなく多様な学びにアクセスできる入口としての役割を担ってほしいという思いを込めて名付けられました。

配信センターには、各教科・科目の専任教員が配置され、小規模校における多様な科目開設や、生徒の習熟度に合わせた授業を実施しています。

配信センター内には配信ブースが 5 つ、スタジオが 1 つ整備されており、複数の授業を同時に配信することができます。



【遠隔教育配信センターのロゴマーク】



【遠隔授業を行う配信ブース】

遠隔授業の実施状況について

1 今年度の受信校と配信科目

次の表のとおり、現在、配信センターから 22 校延べ 40 科目の遠隔授業を行っています。

また、複数の学校を同時に接続した形態の授業も実施し、小規模校における協働的な学びの機会の確保を図っています。

表 今年度の受信校、実施教科、実施科目

※丸数字は学年、()内は単位数

受信校	教科	科目
豊栄高校	理科	③物理基礎(2)
白根高校	理科	②生物基礎(3)
五泉高校	理科	③生物(4)
阿賀黎明高校	公民	③政治・経済(2)
	理科	②物理基礎(2)
中条高校	国語	③論理国語(2)
	地歴	①地理総合(2)2 クラス、 ③地理探究(2)
阿賀野高校	地歴	③日本史探究(3)
	理科	③化学(4)
見附高校	情報	①情報Ⅰ(2)2 クラス
国際情報高校	地歴	②世界史探究(2)、 ③世界史探究(3)、 ②日本史探究(2)
	情報	①情報Ⅰ(2)
八海高校	国語	③文学国語(4)
塩沢商工高校	地歴	②歴史総合(2)3 クラス
十日町高校	公民	③倫理総合(2)
松代高校	理科	③化学(4)
柏崎常盤高校	理科	①物理基礎(2)、 ②物理(2)、③物理(2)
	理科	②化学基礎(3)
高田商業高校	理科	②化学基礎(3)
有恒高校	地歴	②歴史総合(2)
佐渡高校 (両津キャンパス)	情報	①情報Ⅰ(2)
羽茂高校	地歴	③地理総合(2)
	理科	②化学基礎(2)
佐渡総合高校	公民	②政治・経済(2)
	英語	②英語コミュニケーションⅡ(4)2 クラス



受信校	教科	科目
村上中等教育学校	情報	④情報 I (2) 2 クラス
津南中等教育学校	情報	④情報 I (2) 2 クラス
直江津中等教育学校	公民	⑤政治・経済 (2)
佐渡中等教育学校	情報	④情報 I (2)

2 遠隔授業の特色について

遠隔授業について、特徴的な授業内容やその取組を紹介します。

(1) ICT と学習用アプリの活用

配信センターでは、地理的な環境や学校の規模にかかわらず、県内すべての高校生が質の高い教育を受けられる環境づくりを推進しています。その核となるのが、ICT機器や学習用アプリをフル活用したリアルタイムの双方向型授業です。

配信教員が単に授業映像を一方向的に配信するのではなく、学習用アプリ等のICTツールを積極的に活用することで、画面越しであっても教員と生徒、あるいは離れた学校の生徒同士が瞬時に意見やアイデアを共有できるリアルタイムな授業空間を実現しています。

例えば、配信授業の多くでは「ロイロノート」という学習用アプリを活用しています。そのため、実際には離れていても、教員は全生徒の課題の取組状況をリアルタイムで把握することができます。

また、「情報」の授業では「TFabTile (ティーファブタイル)」という学習用アプリを活用しており、生徒が操作しているパソコン画面そのものをリアルタイムで配信側に映し出すことができます。

これらの学習用アプリを活用することで、離れていても教員側は、生徒の理解度や学習進捗状況、つまりしている箇所も個別に把握できます。そのため、即時に生徒に指導・助言することができ、生徒一人一人に応じた課題展開やフィードバックが可能となっています。



【遠隔授業を受けている生徒の様子】

(2) 2 校合同授業

配信センターでは、複数の学校に授業を同時配信する合同授業を実施しています。

今年度は、配信センターから阿賀黎明高校と佐渡総合高校を対象とした「政治・経済」、松代高校と阿賀野高校を対象とした「化学」の合同授業を行っています。

合同授業では、遠隔教育の利点を生かし、地域的な制約を超えて他校の生徒と学び合うことができます。学校の枠を越えた交流をとおして、多様な考え方や意見に触れる機会が広がり、生徒一人一人の思考を深める学びにつながっています。

合同授業を受講した生徒からは、「合同授業を行っている相手校の生徒の考えが、自分とは異なる視点で興味深かった」「他校の生徒とのディベートをとおして、自分の考えをより深めることができた」といった肯定的な感想が寄せられています。

今後も合同授業をとおして、地域や学校の枠を超えた仲間と切磋琢磨しながら学ぶ機会を提供し、「協働的な学び」の充実を推進していきます。



【遠隔合同授業の様子】



遠隔授業以外の取組について

配信センターでは、遠隔授業以外にも様々な取組を行っています。そのいくつかを紹介しします。

1 進学補習

今年度は、遠隔授業を受信している 6 校を対象とした進学補習を実施しています。

村上中等教育学校後期課程 6 年生を対象に、「情報 I」の共通テスト対策を目的とした進学補習を実施しました。

同校において、「情報 I」は 4 年時に履修を完了しており、5 年時および 6 年時には正規の授業が開講されていません。そのため、大学進学に向けた学習は、生徒自身の自学自習が中心となる実情があります。こうした実情を踏まえ、この進学補習では単なる知識の再確認にとどめず、自学自習の質を高めるための学習アプローチに重点を置いて行いました。

具体的には、大学入学共通テストにおいて重視される思考力・判断力を問う問題への取り組み方や、数学的な考え方や論理的思考を要する分野など、他教科との関連性もふまえながら解説を行いました。また、限られた学習時間の中で優先的に取り組むべき重点問題とその解法プロセスについての共有を図りました。

その他の受信校に対しても、それぞれの学校の状況やニーズに応じた個別の進学補習を遠隔配信で実施しています。

2 外部機関と連携した講座の実施

配信センターでは、生徒の進路希望やスキルアップに対応した講習や講演会を開催しています。

今年度は 8 月に、新潟情報専門学校山川富美浩先生による「プログラミング講座」、新潟大学創生学部の小形優人特任准教授による「高大連携講座（大学数学体験講座）」を開催しました。

どちらも、県内すべての県立高校及び県立中等教育学校（後期課程）の生徒を対象に、オンラインで実施しました。

今後も「公務員対策講座」など、進路に応じた講座を企画・実施していく予定です。多くの

高校生の皆さんの参加をお待ちしています。



【プログラミング講座の案内】

3 遠隔関係職員対象の研修会

県内では配信センター以外にも、学校間配信による遠隔授業を行っています。配信センターでは、学校間配信で授業を担当している教員に対しても、学校訪問支援の実施などによるサポートに努めています。

また、毎月、県内の配信教員と受信校教員・支援員を対象としたオンライン研修会やオンラインミーティングを計画・実施しています。ここでは、遠隔教育の一層の充実や課題解消をテーマに、活発な話し合いが行われています。

おわりに

遠隔教育の導入により、生徒の興味・関心や進路希望に応じた多様な選択科目の開設に加え、学校間連携や外部人材との連携などを進めることで、生徒の個別最適な学びや協働的な学びの充実がますます期待されます。

今後も配信センターは、新潟県の遠隔教育の中核的存在として、県内の高校生にとっての新たな「学びの扉」となるべく、その役割を果たしてまいります。

【お問い合わせ】

高等学校教育課 将来構想推進室
電話 025-280-5614



専門学科の取組について

高等学校教育課

はじめに

高等学校教育課では、新潟の未来を担う人材の育成に力を入れています。

ここでは、産業教育の充実に向けて当課が実施している取組と、専門学科及び総合学科における生徒の知識・技能や創造力、応用力等の育成のための取組についてご紹介します。

産業教育の充実

1 専門教育推進事業

本事業では農業、工業、商業の専門学科における「デュアルシステム」や「ものづくり技能・技術の継承」「最新技術の習得」の推進に取り組んでいます。

「デュアルシステム」については、地域や産業界と連携し、企業等において 10 日程度の現場実習を行うことで、生徒の勤労観や職業観の醸成と、実践的な職業知識や技術・技能の習得を目指しています。

「ものづくり技能・技術の継承」については、熟練技能者の技や産業現場の優れた技術を伝承するため、産業界の第一線で活躍している方や、後進の指導にあたっている方を招き、実技指導や講習会、講話等を実施しています。

「最新技術の習得」については、日々進化している最新技術を習得するため、指導農業士等を招き、実技指導や講習会、講話等を実施しています。

これらの事業の実施によって、産業教育の更なる充実に取り組んでいます。

2 専門高校ジョイントミーティング

専門高校ジョイントミーティングは、専門高校等における学習成果の共有と教育活動の充実に資することを目的として、令和 3 年度から実施しています。

本事業はこれまで、一日の発表会形式で実施し、専門学科、総合学科の枠を越えて生徒の交流を深めてきました。

今年度も参集型で成果発表会を実施しますが、新たな取組として、発表会前にオンラインミーティングを 3 回実施します。異なる学校の

生徒でグループを編成し、選択したテーマを深掘りして、新潟県の産業や自身の未来について考える機会とします。また、各グループには、専門教科の教員がファシリテーターとして参加します。



【 昨年度のジョイントミーティングの様子 】

3 高度資格取得支援事業

今年度の新たな事業として、専門学科及び総合学科を対象に、職業に関する高度な資格の取得に必要な技能や知識の習得機会の拡充を図り、将来の産業社会を支える人材の育成につなげることを目的に、高度資格取得支援事業を実施しています。

専門高校等で外部講師による実技指導、講習会等を実施する際の費用を補助するものであり、各学校が積極的に当事業を活用することで、より多くの生徒の資格取得につなげていきたいと考えています。

職業に関する専門学科・総合学科の取組

1 農業に関する学科

農業に関する学科では、私たちの生命や健康を維持するために必要不可欠な食糧や資材の生産、環境整備などを主に取り扱います。作物、園芸、畜産、食品、林業などの多様な専門分野があり、知識と技術・技能を身に付け、実験・実習を通して活用する力を育てています。また、最近では、生活のうるおいや心のケアなど、食糧生産以外の多面的な役割も注目を集めており、生徒が自らの興味・関心のあるものを選び、探究していく学びを大切にしています。

農業に関する学科を設置している県立高校は 4 校あり、地域の特性を生かした教育を展開しています。

長岡農業高校では、酒米づくりから酒仕込み



まで一年をかけて取り組んでいます。高田農業高校では、「GLOBALG. A. P. 認証」や新潟県特別栽培農産物認証を取得した米を生産し、上越市ふるさと納税返礼品として提供しています。

これからも、地域に根付いた学びを通して、農業を維持、発展させる人材の育成を続けていきます。



【 田植え実習の様子 】

2 工業に関する学科

工業は、科学技術を基盤として、社会や産業を支える製品や技術、仕組みを生み出し、社会の発展に貢献する分野です。機械、電気、情報、建築、土木、工業化学などの専門分野について、知識と技術・技能を身に付け、実験・実習を通して活用する力を育てています。また、課題を見だし、解決策を考え、検証・改善する実践的な学びを大切にしています。

工業に関する学科を設置している県立高校は 8 校（単独校 6 校、他学科との併設校 2 校）あり、特色ある教育を展開しています。新潟工業高校では I T 工学科を設置し、デジタル技術を活用した学びを進めています。新津工業高校の日本建築科では、木造建築の技術を学び、木材加工や建築実習に取り組んでいます。企業や大学等と連携した課題研究なども行い、実社会とつながる学びを進めています。

こうした学びを通して、課題解決力や創造力を育み、地域産業を担う人材を育成しています。



【 金属加工実習・測量実習の様子 】

3 商業に関する学科

ビジネスは、身の回りの「不」を解消し、人々に喜ばれ、利益につながる事業を展開することだと考えられます。商業に関する学科では、身の回りの不便、不満など「不」のつくものを解決する方法を考える教育を展開しています。理論的な知識を身に付けるだけでなく、課題解決のために必要な技術を習得すること、さらに、学んだ知識と技術を実践することも、商業を学ぶ上で大変重要です。

商業に関する学科を設置している県立高校 6 校（単独校 5 校、他学科との併設校 1 校）と、商業科目を学ぶことのできる学校の多くでは、販売実習や地域と連携したイベント等への参加を積極的に行っています。企業の方や地域の方との連携は、貴重な実践の場であり、商業を学ぶ生徒たちにとって、実社会の現実や課題に触れることができるリアルな教科書となっています。

実践の場では、すべてが計画通りに進むわけではありませんが、P D C A サイクルを回し、試行錯誤しながら取り組んでいます。



【 販売実習時の賑わいの様子 】

4 水産に関する学科

県内唯一の水産科を持つ海洋高校では、資源育成、食品科学、海洋技術、海洋創造の 4 つのコースに分かれ、それぞれ特色ある水産教育を行っています。

潜水実習プール、栽培漁業実習施設、食品科学実習施設、海洋工学実習施設、実習船「海洋丸」を有するなど、国内屈指の恵まれた施設設備が特徴です。

近畿大学との連携により取り組んできたアカムツ（ノドグロ）の養殖研究は、これまでに多くの稚魚を放流するなど、全国的にも注目さ



れています。

また、水中ドローンによる海洋環境調査や、地元の道の駅内に設置する「海洋高校アンテナショップ能水商店」における販売実習、デジタルマーケティングへの取組等を通して、海洋・水産業の I C T 化と 6 次産業化を実践的に学んでいます。



【 漁獲実習の様子 】

5 家庭に関する学科

家庭に関する学科を設置している県立高校は 3 校(他学科との併置校のみ)あり、衣食住、保育、福祉などのヒューマンサービスに関わる生活産業の発展に貢献できる人材育成に取り組んでいます。

食物科を設置する新潟中央高校では、県内唯一の調理師養成施設として、家庭科に関する専門性と生活を科学する実践力を併せ持つ食のスペシャリストを育成しています。

家政科を設置する長岡大手高校や生活文化科を設置する高田北城高校は、家庭生活に関する専門的な学習や地域連携などの特色ある取組を通して、生活関連産業の創り手を育成しています。

近年、顕著な功績を残す本県の高等学校家庭クラブ連盟の活動は、この 3 校を中心に運営されています。学校家庭クラブの活動の充実はもとより、各種コンテスト等への積極的な参加や、地域や産業界との連携・交流を通じた教育活動に取り組むなど、家庭科教育の充実に努めています。



【 集団調理実習の様子 】

6 総合学科

総合学科を設置している県立高校は 10 校あり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視し、将来の職業選択を視野に入れ、様々な学びを通じて自己の進路への自覚を深めることを柱としています。

各校には、農業・工業・商業・家庭の専門教科に関する系列や普通科系列などが設置され、生徒は、多様な系列、科目を選択し、学びを深めています。

総合学科の特徴的な学びの一つとして、高校全体で定められた共通の必修修科目(国語、数学、保健体育など)のほかに、総合学科特有の原則履修科目である「産業社会と人間」があります。1 年次にこの科目を必ず学び、自己の生き方や進路について考えます。

また、県内 10 校の生徒が年に 1 回、自校の取組などを発表し合う、総合学科プレゼンテーション大会を開催し、生徒自身の成長につなげるとともに総合学科の魅力の発信を通じて、特色ある教育の一層の推進を図っています。

おわりに

今日の社会では、デジタル技術が急速に進展しています。その中で、A I に代替されるのではなく、A I をはじめとするデジタル等の最先端技術を活用しながら、「人」だからこそ担える創造的な役割や専門性と実践力を持ち合わせ、地域産業の現場で活躍できる人材を育成するためにも、より一層、産業教育の充実に努めていきます。

【お問い合わせ】

高等学校教育課 指導第 2 係
電話 025-280-5613



県内の公立学校教職員の長期病気休暇・休職者の状況について

福利課

はじめに

福利課では、県内の公立学校教職員（新潟市を除く）について、病気による 1 か月を超える長期休暇者及び休職者（以下、「休職者等」という。）の状況を調査、集計しています。

本号では、令和 7 年度の状況を紹介します。

精神疾患による休職者等の推移

令和 7 年度の休職者等は 317 人でした。疾病分類別で最も多いのが、精神疾患で 201 人、次いで、新生物が 45 人です。（表 1）

過去 5 年間を見ても、休職者等の約 6 割が精神疾患を理由にしており、令和 7 年度の全教職員に対する精神疾患による休職者等の割合は 1.39% で、横ばいに推移しています。

（図 1、図 2）

また、対象は異なりますが、教育職員の休職者等を調べた文部科学省の調査によると、本県の精神疾患による休職者の割合は全国平均を下回っています。長期病気休暇者を含めた場合でも令和 6 年度は全国平均を下回りました。

（図 3、図 3-2）

【表 1 県内公立学校教職員（新潟市を除く）の休職者等の疾病分類別の内訳】

表 1 令和 7 年度 長期病気休暇者（1 月超）・休職者等の状況 【疾病別】

	令和 7 年度			令和 6 年度		
	長期病休者	休職者	合計	長期病休者	休職者	合計
1 感染症及び寄生虫症	1	0	1	1	0	1
2 新生物	28	17	45	30	14	44
3 血液及び造血系の疾患ならびに免疫機構の障害	0	0	0	0	0	0
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	1	2	1	0	1
5 精神及び行動の障害	125	76	201	114	85	199
6 神経系の疾患	3	4	7	4	2	6
7 眼及び付属器の疾患	1	0	1	5	0	5
8 耳及び乳様突起の疾患	0	2	2	0	1	1
9 循環器系の疾患	6	2	8	8	3	11
10 呼吸器系の疾患	1	0	1	1	1	2
11 消化器系の疾患	1	1	2	5	1	6
12 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0	0	0	1	1
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	13	2	15	8	2	10
14 泌尿器系の疾患	3	0	3	2	0	2
15 妊娠、分娩及び産褥	21	0	21	11	0	11
16 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0
17 損傷、中毒及びその他の外因の影響	7	1	8	8	1	9
合 計	211	106	317	198	111	309

※1 福利課調査により作成

※2 新潟市を除く公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教育職員、事務職員対象

※3 疾病分類表（ICD-10 国際疾病分類準拠）等により分類

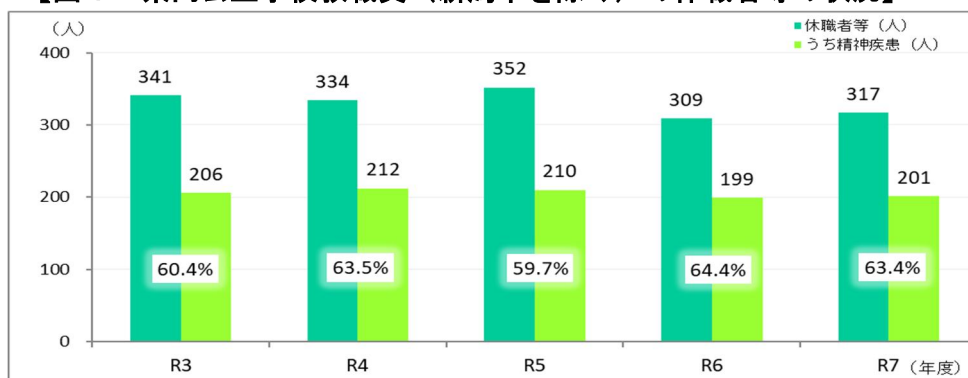
※4 表中の長期病休者とは「1 か月を超える長期病気休暇者」をいう。

※5 年度内に長期病気休暇から休職へ移行した者は休職者に計上し、合計は実人数

※6 新生物とは「がん、ホジキン病、白血病、脂肪腫、血管腫、子宮平滑筋腫」等をいう。



【図 1 県内公立学校教職員（新潟市を除く）の休職者等の状況】

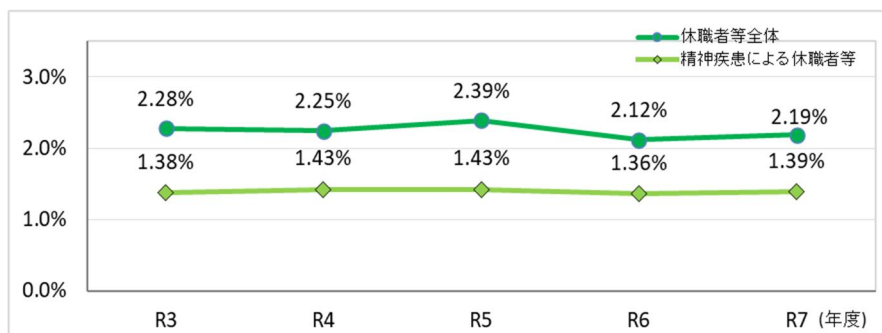


※1 福利課調査により作成

※2 新潟市を除く公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教育職員、事務職員対象

※3 「1か月を超える長期病気休暇者」及び「病気休職者」の合計

【図 2 県内公立学校教職員（新潟市を除く）に占める休職者等の割合】

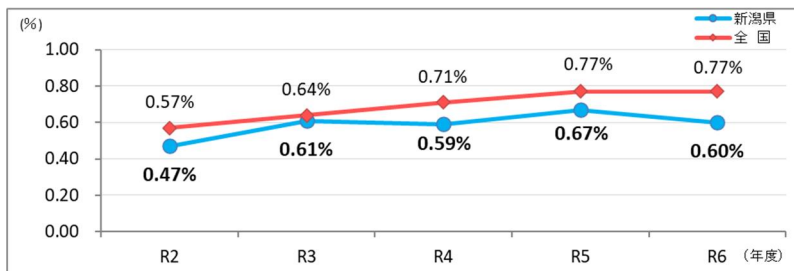


※1 福利課調査により作成

※2 新潟市を除く公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教育職員、事務職員対象

※3 「1か月を超える長期病気休暇者」及び「病気休職者」の合計

【図 3 教育職員に占める精神疾患による休職者の割合】

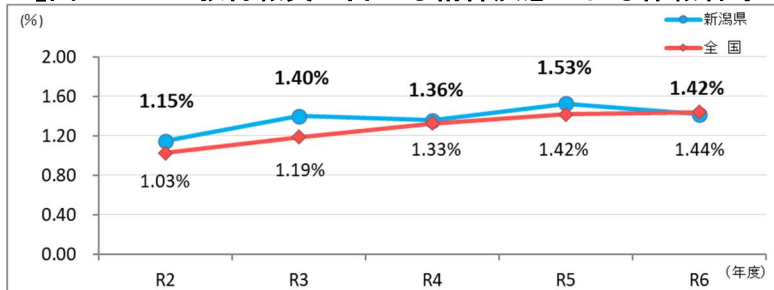


※1 「公立学校教職員の人事行政状況調査（文部科学省）」により作成

※2 公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教育職員対象

※3 「病気休職者」のみ計上

【図 3-2 教育職員に占める精神疾患による休職者等の割合】



※1 「公立学校教職員の人事行政状況調査（文部科学省）」により作成

※2 公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教育職員対象

※3 「1か月以上の長期病気休暇者」及び「病気休職者」の合計



県教育委員会のメンタルヘルス対策

県教育委員会では、公立学校共済組合新潟支部(以下、「共済組合」という。)と協力して、教職員本人のセルフケアや管理職によるラインケアの研修を実施するとともに、精神科医、臨床心理士等による相談や試し出勤、職場復帰支援プランの作成等、職場復帰に向けた支援などに取り組んでいます。

また、ストレスチェックの実施により、教職員のストレスへの気づきと対処を促すとともに、評価結果を職場環境改善に活かせるよう、管理職を対象にしたストレスチェック集団分析活用研修を行っています。

併せて、共済組合においても、各所属でストレスチェック制度の理解を深めてもらうため、「職場の健康づくり支援事業」の中に、スト

レスチェックの診断結果に基づく職場環境改善のための講座を設けています。(表 2)

おわりに

県教育委員会と共済組合では、今後も、精神疾患による休職者等の推移を注視しながら、メンタルヘルス対策を教職員の健康管理対策の主要な柱として位置づけ、不調の未然防止から職場復帰支援までの各段階に応じた取組を進め、教職員の心の健康保持に努めていきます。

[お問い合わせ]
 福利課 健康管理係
 電話 025-280-5596

【表 2 令和 8 年度メンタルヘルス対策の概要】

区 分	公立学校対象		
	(共済組合事業)	県立学校等対象 (県事業)	市町村立学校教職員対象
一次予防 ◆ 予防的対策 ・ 職員研修 ・ セルフケアの普及啓発 ・ ラインケアの普及啓発	◆ メンタルヘルスセミナー (一般教職員対象・若年層職員対象) ◆ <u>管理職のためのメンタルヘルスセミナー</u> (校長対象) ◆ 若年層への健康リテラシーセミナー (30代までの教職員対象) ◆ 職場の健康づくり支援事業 (所属での講座開催費用助成) ◆ ところとからだのセルフチェック・心の体温計 (Web上でのストレスチェックとセルフケアの啓発普及)	◆ メンタルヘルス講座(教育センター主催の新任者研修の一環として実施) ◆ ストレスチェック ◆ 異動教職員健康相談会 ◆ メンタルヘルス研修会(安全衛生管理者(ストレスチェック集団分析活用研修))	【各市町村対応】
二次予防 ◆ 早期発見 ◆ 早期対応 ・ 相談体制整備	◆ カウンセリング技法研修会 (話し方、傾聴の啓発普及) ◆ 心の健康相談窓口 (面接相談) 新潟(2箇所)、長岡(2箇所)、上越の専門機関委託 (オンライン相談) 新潟(1箇所)、長岡(1箇所)、上越の専門機関委託 ◆ 管理職対象の相談窓口 新潟・長岡・上越の専門機関委託	◆ メンタルヘルス講座(教育センター主催の新任校長・教頭研修の一環として実施) ◆ メンタルヘルス研修会(公立学校教頭・中堅教職員対象) ◆ ところの健康相談員訪問事業(本人相談) 専門機関委託 ◆ ところの健康相談員訪問事業(学校訪問による管理職相談) 専門機関委託	
三次予防 ◆ 職場復帰支援 ◆ 再発防止		サポート事業 ◆ 一般職員・管理職対象の相談 (精神科医・新潟県臨床心理士会委託) ◆ メンタルヘルス検討会 (精神科医等外部専門家による事例検討等) ◆ 復職者のカウンセリング (新潟県臨床心理士会に委託) ◆ 保健師による学校訪問 ◆ 試し出勤 ◆ 職場復帰支援プラン作成	【各市町村対応】



こども読書活動の推進について

生涯学習推進課

はじめに

県教育委員会では、こどもの読書活動の推進に関する研修会を行っています。9月に「学校図書館活用編」、10月に「家庭読書実践編」を実施します。

多くの方からの参加をお待ちしております。

こども読書レベルアップ研修会

○家庭読書実践編

テーマを設定した新しい切り口での本の楽しみ方を提案し、絵本を活用したこどもの探究心の育み方や、絵本への興味・関心を引き出す方法、読み聞かせの手法などについて幅広く学ぶ研修会を開催します。

今回は「和食文化」をテーマに、和食の魅力を理解した上で、それらをどのようにこどもの読書活動へ繋げていくかを考えます。

1 日時

10月9日（金）13:30～15:00
（15:00～副会場企画）

2 テーマ・講師

①「日本の食文化について」

農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部
外食・食文化課 食文化室長 岡野 正明 様

②「読書と体験をつなぐために

～和食文化を実例として～

和食文化継承リーダー・絵本専門士
朝日 仁美 様

3 内容（予定）

日常生活における「和食文化」について理解を深めるとともに、こどもたちが身近に感じる絵本や読み聞かせに活用できそうな本を紹介しします。11月の「和食の日」をテーマにした読み聞かせプログラムも紹介しますので、受講された方はすぐに実践できます。読書と食育の双方向から、こどもの読書活動にアプローチしていきます。

4 会場

【本会場】

新潟県立生涯学習推進センター大研修室

【副会場】

- ①長岡市立中央図書館
- ②小千谷市ひと・まち・文化共創拠点
ホントカ。
- ③十日町情報館
- ④糸魚川市民会館
- ⑤妙高市複合施設まちなか+（ぷらす）
- ⑥佐渡市立さわた図書館
- ⑦勤務先・自宅等

5 形式

本会場：対面

副会場・個人：Zoomによるオンライン

6 申込み

記載の QR コードか URL の電子申請よりお申込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=33693



※詳細は、以下の生涯学習推進課ホームページで御確認ください。

https://www.pref.niigata.lg.jp/site/syogai_gakushu/

おわりに

読書は、楽しさを経験するとともに、読解力、想像力、思考力、判断力、表現力など様々な力が身に付き、こどもたち一人ひとりの言語能力をさらに向上させることができます。これらの力を養うための取組に御協力をお願いします。

【お問い合わせ】

生涯学習推進課成人教育係
電話 025-280-5972



自作映像・視聴覚教材コンクールについて

生涯学習推進センター

はじめに

生涯学習推進センターでは、様々な学びの場で活用できる映像・視聴覚教材の制作の促進及びその活用を図るとともに、映像教材やデジタルコンテンツ等の制作を通じた情報活用能力の育成を目指し、新潟県自作映像・視聴覚教材コンクールを開催しています。

教職員が学校の授業や各種指導のために作った作品や、児童生徒が学習で作った作品の応募をお待ちしています。また、社会教育・地域映像部門では、県内に在住、在学、在勤しているアマチュアの方（個人・グループ問わず）ならどなたでも、地域映像を題材にした作品に応募できます。

今年度のコンクールについて紹介します。

募集部門 社会教育・地域映像部門
学校教育部門
児童・生徒部門
募集期間 9月1日（火）～1月22日（金）
※詳細は当センターHPを御覧ください。

社会教育・地域映像部門

地域の自然・歴史・文化・産業等を題材にした作品や公民館等で作成した作品が対象です。撮影して編集した作品だけでなく、紙芝居やかかるたなどで表現した作品も応募できます。

【令和7年度 最優秀賞作品】

社会教育・地域映像部門 作品名 鉄工丸事件
～沈んだ記憶を、未来へ運ぶ～
制作者 敬和学園大学 永井 真由



学校教育部門

教職員が学校の授業、または各種指導のために作った作品が対象です。授業で提示するために作成したプレゼンテーション資料や動画、Web上で視聴できるデジタルコンテンツや学校紹介動画なども応募できます。

【令和7年度 最優秀賞作品】

学校教育部門 作品名 食育教材「岩船麴ができるまで」
制作者 村上市立山北中学校 佐藤 美春

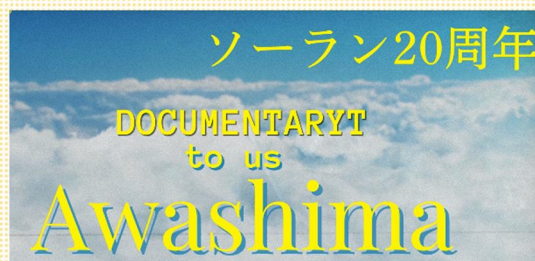


児童・生徒部門

学校の児童生徒が学習として作った作品が対象です。総合的な学習の時間のまとめや生徒会、クラブ、委員会で作成した作品も応募できます。

【令和7年度 最優秀賞作品】

児童・生徒部門 作品名 「島っ子ソーラン」ドキュメンタリー
制作者 粟島浦村立粟島浦中学校



おわりに

今年度のコンクールの応募方法については、当センターHP「ラ・ラ・ネット」(<https://www.lalanet.gr.jp>)を御覧ください。たくさんの御応募をお待ちしています。

【お問い合わせ】

県立生涯学習推進センター
電話 025-284-6110

ラ・ラ・ネット





インフォメーション

●県立自然科学館（新潟市）

プラネタリウム秋冬の番組

プラネタリウム版

「チ。 —地球の運動について—」

大人気アニメ初のプラネタリウム化！15 世紀のヨーロッパ某国を舞台に、「地動説」を命懸けで探求した人々を描いたフィクション作品。

現代の最新宇宙研究へとつながる壮大な天文学の世界をお楽しみください。



◎魚豊／小学館／チ。 —地球の運動について—製作委員会

○会 期 9 月 19 日(土)～3 月 15 日(月)

○会 場 1 階 プラネタリウム

○観 覧 料 大人 210 円

小・中学生 100 円

※別途入館料(大人 580 円/小・中学生 100 円)

※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は入館料・観覧料が免除になります。券売所で御提示ください。

○休 館 日 火曜日(祝日の場合は開館)、
9 月 24 日(木)

○開館時間

(平日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

(土日祝) 午前 9 時 30 分～午後 5 時

(入館券の販売は閉館 30 分前まで)

県立自然科学館では平日に限り、団体用プラネタリウムや実演プログラムを用意しています。詳しくは[こちら](#)を御覧ください。

県立自然科学館

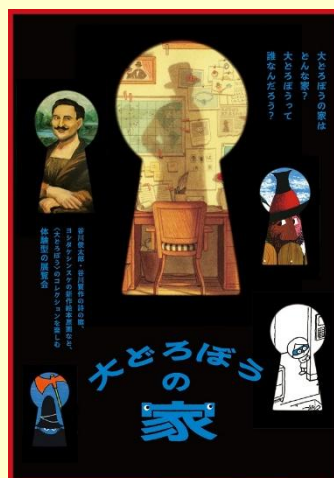
所在地 新潟市中央区女池南 3-1-1

TEL:025-283-3331

URL: <https://www.sciencemuseum.jp/>

●県立万代島美術館（新潟市）

【企画展】大どろぼうの家



有名な大どろぼうが引退を決意し、最後の盗みに出かけました。今こそチャンスです。留守になって大どろぼうの家にこっそり忍び込みましょう。家の中には、長年盗んできた豪華なお宝や偏愛コレクション、そして、なんと宇宙まで飾られているようです。本展は、8つの部屋をまわりながら、大どろぼうの秘密に迫る体験型の展覧会です。

○会 期 9 月 19 日(土)～12 月 20 日(日)

○休 館 日 9 月 28 日(月)、10 月 5 日(月)、

19 日(月)、26 日(月)、11 月 9 日(月)、16 日

(月)、30 日(月)、12 月 7 日(月)、14 日(月)

○開 館 時 間 午前 10 時～午後 6 時

(観覧券の販売は午後 5 時 30 分まで)

○観 覧 料 当日券／一般 1,600 円(1,400 円)

大学・高校生 1,200 円(1,000 円)

※中学生以下無料

※()内は有料 20 名以上の団体料金。

※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。

【どろぼう絵本の読み聞かせ会】

読み手: 水島知子(フリーアナウンサー・絵本専門士)／三石佳那(BSN アナウンサー)

日時: 11 月 8 日(土) 午前 11 時／午後 2 時(各 30 分程度)

場所: 当館ロビー(申込不要)

県立万代島美術館

所在地 新潟市中央区万代島 5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル 5 階

TEL:025-290-6655

URL:<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>



●県立近代美術館(長岡市)

きもののヒミツ 友禅のうまれるところ
—京都千總コレクションを中心に—

本展では、創業 470 年を越える友禅の老舗・千總の豊富なコレクションを中心に、京都国立近代美術館の所蔵品等を加えて、近世のきもの、雛形本、近代京都画壇の絵画、染織図案、工芸品、人間国宝のきものなど、さまざまな作品や資料を通じて、平面と立体のあいだを行き来するきものに施された独自のデザインの工夫と、その時代背景をご紹介します。

- 会 期 9 月 12 日(土)～11 月 15 日(日)
○観 覧 料 一般 1,800 円(1,600 円)
大・高生 1,000 円(800 円) 中学生以下無料

「コレクション展 2026 年度 第 3 期」

- ◇ 作品の中のきもの
◇ 祈りと叫び 宗教主題のドイツ表現主義版画を中心に
◇ 近代美術館の名品
○会 期 9 月 8 日(火)～11 月 23 日(月・祝)
○観 覧 料 一般 430 円(340 円)
大・高生 200 円(160 円) 中学生以下無料

※()内は有料 20 名以上の団体料金。
※大・高生は学生証をご提示ください。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。
手帳をご提示ください。
○休館日 毎週月曜日(ただし、9 月 21 日(月)は開館、24 日(木)が休館)
○開館時間 午前 9 時～午後 5 時
(観覧券販売は午後 4 時 30 分まで)

「親子ふれあいデー」

- 中学生以下の子を同伴する保護者のコレクション展
観覧料が無料になります。(企画展は対象外)
※9 月の親子ふれあいデーは、9 月 19 日(土)です。

県立近代美術館
所在地 長岡市千秋 3 丁目 278-14
TEL:0258-28-4111
URL: <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

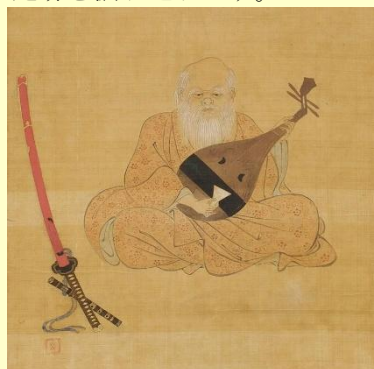
●県立歴史博物館(長岡市)

秋季テーマ展示

「堀直奇の系譜

—椎谷藩と村松藩—」

堀直奇(ほり なおより)は、慶長 3 年(1598)に越後に入封した堀家の一族で、長岡・村上等の城主として、地域発展の礎を築きました。また、弟は椎谷藩(陣屋所在地: 柏崎市椎谷)、次男は村松藩(陣屋所在地: 五泉市村松)の祖となります。本展では、本年 3 月に新潟県指定文化財となった「堀直奇像」などゆかりの資料から江戸時代の堀家の足跡を振り返ります。



堀直奇像

新潟県立歴史博物館所蔵

- 会 期 9 月 19 日(土)～11 月 3 日(火・祝)
○開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時
○会 場 県立歴史博物館企画展示室
○休 館 日 毎週月曜日
(月曜が祝休日の場合は翌平日)
○観 覧 料 常設展観覧料でご覧いただけます
(一般 520 円、高校・大学生 200 円、
中学生以下無料)
※学校団体でご観覧の場合は、新潟県内の学校は
無料です。事前にお申込みください。

県立歴史博物館
住所 長岡市関原町 1 丁目 2247-2
TEL 0258-47-6130
URL <https://nbz.or.jp/>



●新潟県民会館（新潟市）
劇団四季ミュージカル
『コーラスライン』



撮影:阿部章仁

夢をあきらめない、選んだ道を悔やまない、舞台に生きるダンサーたちの熱いドラマをあなたに。

○日 時 10月17日(土)午後5時30分開演
10月18日(日)午後1時開演

○会 場 新潟県民会館 大ホール

○料 金 S席:11,000円 A席:9,000円
B席:6,000円

※3歳未満入場不可。

新潟県民会館
所在地 新潟市中央区一番堀通町 3-13
TEL:025-228-4481
URL:<https://www.niigata-kenminkaikan.jp/>

※PDF ファイルで御覧の方は、下線部(Web ページアドレス)をクリックすると、直ちに当 Web ページにジャンプしますので御用ください。

※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。
新潟県 教育月報 で検索してください。

教育月報

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町 4 番地 1
電 話 025-280-5587
F A X 025-256-8624
E-mail
Web 版 URL :
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>

●新潟県民会館（新潟市）
創立 45 周年記念
鼓童十二月公演 2026



宣伝美術:金森理恵・安藤聡 写真:岡本隆史

これまでの鼓童を支えてきた代表的な演目を中心に、幅広い世代から集結した出演者による特別な舞台をどうぞお楽しみください。

○日 時 12月12日(土)・13日(日)
各日午後2時00分開演

○会 場 新潟県民会館 大ホール

○料 金 S席:7,000円 A席:6,000円

※未就学児入場不可。

新潟県民会館
所在地 新潟市中央区一番堀通町 3-13
TEL:025-228-4481
URL:<https://www.niigata-kenminkaikan.jp/>

にいがた
教育の日
KYOIKU NOV.1